

**今日のトピック 資源価格の動向**

**原油価格は軟調だが、非鉄金属の価格が上昇**

**ポイント1 原油価格は軟調な動き  
供給過剰が重石**

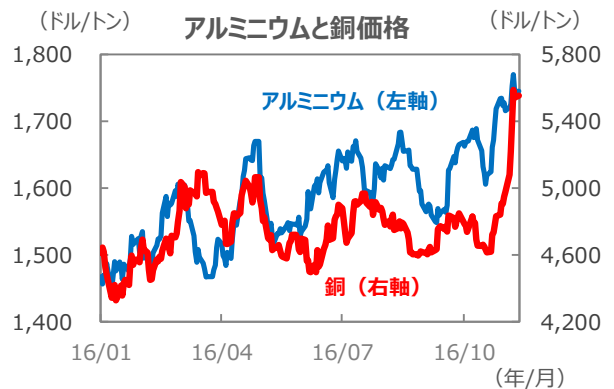
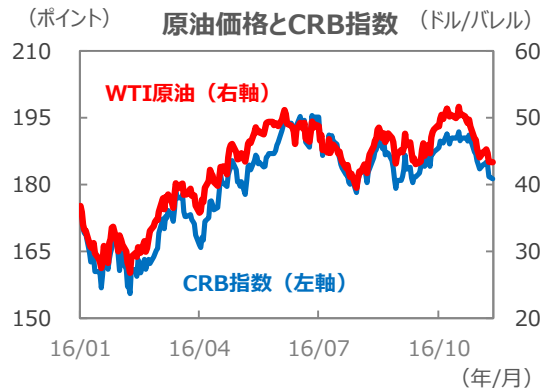
- 原油価格は、石油輸出国機構（OPEC）の協調減産合意との報を受け、10月に1バレル当たり50ドル台を回復しましたが、買いが続き反落し、同40ドル台前半まで下落しました。
- 総論（協調減産）には賛成でも、各論（国別の生産割り当て）での合意成立は困難との見方が強まったことや、エネルギー産業の規制緩和を唱えるトランプ氏が米大統領選挙に勝利したことなどが、原油価格の押し下げ要因となりました。

**ポイント2 非鉄価格は上昇基調  
中国経済の立ち直りを好感**

- 原油価格とは対照的に、アルミニウムや銅、亜鉛といった非鉄金属の価格は上昇基調を辿っています。中国経済の減速懸念が後退したうえ、トランプ次期大統領の経済政策に沿った公共投資の拡大で米国の非鉄金属への需要が増えるとの思惑が強まったことなどが影響しています。
- 国際商品の値動きを示す代表的な指数であるトムソン・ロイターCRB指数は、原油価格の影響が大きく、10月以降、冴えない動きとなっています。

**今後の展開 非鉄は堅調に推移しよう**

- 非鉄金属の価格については、急騰の後だけに短期的には調整の可能性もありますが、中期的には米国、中国をはじめとする世界経済の緩やかな拡大を背景に、底堅い展開が見込まれます。一方、石油価格は、11月のOPEC総会における国別の生産量割り当てが、当面の焦点となりそうです。



(注) データ期間は2016年1月4日～2016年11月14日。  
非鉄金属の価格はロンドン金属取引所（LME）現物価格。  
(出所) Datastreamのデータを基に三井住友アセット  
マネジメント作成

**ここもチェック!** 2016年11月15日 最近の指標から見る中国経済（2016年11月）  
2016年11月15日 協調減産が焦点となる「OPEC」（グローバル）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。